四月二十八日夕刊

日刊 但し日曜祭日翌日休刊
郵税 一ヶ月 二十五錢 十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 二十錢增
發行兼編輯 印刷人 半谷政喜
發行所 福島縣平市大町二十三番地 新いわき新聞社

# 一町村三部落に 施肥指導品評會
## 縣農主催で一郡から二名の 農會專任技術員による

縣農會では米增收計畫と重大な關係をもつ施肥改善指導によつて耕地の現面積に收獲能率を高め樣とする目論見で町村農會の專任技術員を限る一郡二名づゝの出品を縣下各郡から募り合理的な施肥によつて得たる成績優秀者に一等五十圓、二等三十圓の賞金を授與することになつた該出品の條件は

一町村内に於て部落別に三人の耕作者を選み施費改善增收について一切を指導するもので

早苗の仕立から萬全の方法を講ぜられるものであるが石城郡の出品者は左記の如く植田町と上遠野村の二點である尙ほ增收の目標は縣下に於て一萬石（昭和十、十一、十二の三ヶ年平均に對する五分增）石城郡では一千石增と云ふことになつてゐる

▲植田町（技術員赤津平男）耕作者大字植田竹原週造　同後田大津久吉　同高倉鈴木英次郎（何れも縣奬勵の愛國五號種）

▲上遠野村（技術員渡邊庄藏）耕作者大字根岸蛭田政雄、同上遠野上遠野俊夫、同深山田吉田一雄（何れも愛國五號種）

# 勇士に待たれる慰問 晴巳會一行今日出發
## 聯隊と病院に於ける前人氣 演藝は隊と陸軍病院で

平市内の良家の子女に稽古されてゐる舞踊演藝晴巳會員一行十八名が各家庭の附添えと國防婦人會員等に導かれる若松聯隊と同陸軍病院に於ける白衣の勇士慰問は今廿八日午前十一時十分平驛發で同地に向いたが聯隊からの知らせによれば前人氣が非常なもので來着を待たれてゐるもの丶如く同一行の日程は

廿八日午後三時五十五分若松着榮町鶴屋旅館泊の翌廿九日午前九時聯隊訪問演藝部が會場準備中同行の國婦鄕軍聯合分會は平市出身將兵に慰問金品を贈り市軍事後援會から託された同慰問金品をも傳達した後午前十時演藝公開の筈になつてゐる會場には將校婦人會員一同の參觀もある由で藤田鄕軍聯合分會長、國婦會代表、演藝員代表の挨拶、終つて演じられるものは「古典物とレコード物が相半ばする十七種」約二時間で終了の後將校團全部が加はる記念撮影將校集會場に於ける部隊長以下參加の一行との會食を濟まして休憩午後二時から陸軍病院を訪ひ去る三月落成せる娛樂場に於て白衣勇士慰問の演藝を午後五時頃に終つて鶴屋旅館泊、卅日は朝來市内舊城跡、飯盛山を見學白虎隊現地で聯隊將校の講演を受け、東山溫泉を見たる後午後一時五十分若松發平着六時廿二分で歸平の筈であるが平市國防婦人會から陸軍病院娛樂室の設備に金三十圓を寄附すると

## 白衣勇士慰問の 晴巳會員諸孃

平市晴巳會員の白衣勇士演藝慰問は別項所報の如く今廿八日若松に向つたが會員諸孃達の旅費實演費三百八十圓の外は附添、國婦その他の同行みな旅費自辨を以て慰問の赤誠を捧ぐるもので明廿九日隊と病院で開演する藝の番組及び會員は左の如くである

▲日の丸行進曲　通りやんせ　祭囃子　手習子　五郎　小僧さん〱　ちよんまげ道中　越後獅子　藤娘　汐汲　風流部隊　繪日傘　軍國子守唄　娘道成寺　麥と兵隊　浦島

▲會員關内マス子（二丁目）藤田耀子（田町）　安齊照子（同）高野光子（鍛冶町）阿部佳子（古鍛冶）　清野つる子　吉田滿子　藤田榮子（田町）　齊藤チエ子（材木町）吉田美智子（四丁目）　大間多喜（南町）永山きよ子、杵屋十茂松（田町）同十久松（鍛冶町）　同十久江（一丁目）

## 支那單語

腰のことは同じく腰と書くがヤオ、涙は眼涙でイエンレイ、臀は屁股でピーホ、鼻汁のことを鼻涕でピーテイン血は同じく血と書いてシエ、大便はターピエンまたはシーと稱へる

## 卅日の日曜は 爲替貯金不休
### 平郵便局で

平郵便局では來る三十日が日曜なるも公衆の利便を圖るため特に爲替貯金年金等の窓口事務を平常の通り取扱ふと

# 星製藥の支部長 チエーン聯合大會
## 七百の出席に名士多數の講演 星商業校大講堂に於て

東京星製藥會社の支部長チエーン聯合大會は去る廿一日から三日間同社商業學校大講堂に開催全國からの出席七百餘名に上る盛況で

第一日午前會議、午後前鐵相中島知久平氏の講演、夜は餘興（浪花節ジヤズ萬歲）

第二日星製藥會社見學、頭山滿翁、廣田元首相の祝辭午前十一時畑陸軍大將臨席優良支部長チエーン表彰式終つて大將中心の記念撮影午後永井柳太郎、望月圭介兩氏の講演、夜雅叙園で一同の晩餐會、第三日午前會議、午後宮城、明治神宮、靖國神社參拜、帝國議事堂海軍館參觀、夜新橋演武場の觀劇等、を終つて第四日は洲崎飛行場見學、希望者飛行機塔乘で帝都上空を一周の後解散したが今回の會議は業績を上ぐる爲め主として同會の組織擴大强化に關し講演は時局に關するものであつた

## 十三日會例會

平市十三日會では來る三十日午後七時からマルトモホールに例會を開催されるが今回は山下信義氏の講演がある

# 亡友を偲ぶ切々の情
（3）　陣中より　大森勇氏

芹澤君が亡くなられた知らせを受取つたときは、手紙の書き違ひであるまいかと疑つた程に驚きました、芹澤君もお酒が過ぎたやうでした、節酒させ得なかつたことに對し、友人として醫者として二重の責任を感じてます、酒井國三郎君は親切な世話好きな人でした、一件に旅行したことが度々ありましたが、私が寢像が惡くて布團をはいでると、そつとかけて呉れるほど優しい親切な人でした、酒井君はこの世に居ない人だとは如何しても思はれません内地に歸還すれば酒井君ともゆつくり話せるやうな氣がしてなりません、藤沼君は謹嚴な人で古武士の面影がありました、不合理なことは同君の前は頰冠りして通らねばならなかつたのです、私とは同じカロリー會のメンバーで醫師會に於ては云はゞ同志見たいなものだつたのでしたが、意見の相違から隨分喧嘩したものです、然し私が召集されてからは、喧嘩した時の古い感情には爪の垢ほどもとらはれず、赤誠をこめて慰問して下さいましたので、しば〱感慨させられましたこの高潔な友人も此の世に居られなくなつたのです、引き續き親しき友人の訃報に接すると、百花咲き亂れて世は春なのですが、私の心は紙障をならす淋しさ秋風の音を聞えてゐるやうな氣持ちになります、（本社半谷氏宛四月二十三日着信）

# 戰地の便り
## 一身一家を忘れ 一死報國の覺悟
平市大町出身　鈴木茂

拜啓、寒さ嚴しく相成りました、先日は御鄭重なる御慰問文を頂戴いたし誠に有難く深く感謝する次第であります、御一同樣には愈よ御健勝にて御活動なされて居るとのこと慶賀の至りに存じます、昨今は殊の外寒さ嚴しく雪も三度降りました、日中水筒の水も凍る樣な寒さでありますが御蔭樣にて元氣益々旺盛にて日夜奮闘致して居ります故、他事ながら御休心下さい、次に小生留守中は家族の者共一方ならぬ御世話樣に相成り國防婦人會並びに愛國婦人會の皆々樣の御慰問文及び御慰問品を幾度となく頂戴いたして居りますが、もとより出征は一身一家を忘れ一死報國の覺悟で居ります、それに銃後の熱誠なる御後援を賜りますれで一層心强く今後は一層奮闘いたし皆樣の御期待に添ふやう最後の一歩まで進み皇國のために殉ずる覺悟であります、終りに臨み先生はじめ御一同樣の御健勝をお祈り申上げます、先づは取り敢へず御禮かた〱御一報まで、敬具

## 荒井一等兵戰傷

▣荒井澄一等兵、石城郡錦村人絹工場の勤務先から出征奮闘中金鷄山の戰で名譽の負傷をなす留守宅には同村小學校長の實父一二氏（四〇）母たけ（四三）さん妹みよ子（二五）のり子（二三）四十二さん（六）弟滿（九）さんがゐる

## 平市公益質屋に 位置の惱み
### 無駄な苦勞とも云ふ

平市が新設する公益質屋は委員間でも好位置の選定に惱み最初に見込みをつけた白銀町（平郵便局前突當り）が餘り好ましくないと云ふので市内各所に指目した結果紺屋町元苫荷屋跡を市内百澤易興氏が所有してゐるものに交渉したところ全部なら兎も角分割買收（現在の半分）では應じられぬとなり是又行き惱みの狀態となつたが平市内の利用者を想像して一般會計からの欠損補塡を當分は續くものと見られる右の設置に斯樣な苦勞は無益でないかと語るものもある

## 軍人遺家族慰安 三曲演奏會
### 三十日公會堂で

平市内應召軍人遺家族慰安三曲演奏會は市內野喜久會の主催に靜久會、竹由會の後援で來る三十日午後五時半から公會堂一階に於て催されるがプログラム左の如くである

▲六段　萬才　松上の鶴　夕顏　ワン〱ニヤオ〱　大せきれい　桃太郎さん　內山　ピヨン〱〱ピヨコリン　三つの景色　竹生島（以上）

## 石城産馬區長會

石城産馬畜産組合では今二十八日午前十時から平市郡聯体事務所に區長會を開き增産計畫その他につき打合せをなす

## 幼兒乳房で壓死

石城郡勿來町大日本炭礦矢部鶴雄妻はつよ（四二）は去二十六日朝添寢中の三女えい子（二ツ）を乳房で鼻口を壓し窒息死亡させ植田署の取調べを受けた

新興ダイヤペン付
ウエル萬年筆　一、五〇以上
商工省主催『代用品工業振興展覧會』出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重なる鑑査に合格したる新興國策製品
代理店　文　魁文堂　電話三一三

# 農業

## 多角經營の理想型（終）

血みどろの苦闘が今や漸く實を結ぶ

農業光熱費五圓八十錢、農業藥劑費二圓三十四錢、加工原料費九圓二十錢、雇傭勞賃二十七圓八十錢、租稅公課十二圓八十五錢、小作料七圓八十錢、寫眞費三圓雜費五圓十錢、合計七百三十三圓五十錢、

▼現物、土地改良費七圓五十錢、建物費二圓、種苗費五圓二十五錢、肥料費三百三十五圓十四錢、家畜購入費十八圓、飼料百七十八圓五十一錢、種付料三圓、桑葉代千六十五圓六十錢、加工原料費四十八圓四十五錢雇傭勞賃九圓七十錢、小作料三百二十一圓二十錢、合計千百九十四圓三十五錢

▼總支出二千七百二十七圓八十五錢、田畑反當百八十八圓十錢、家族一人當り三百四十四圓九十八錢、從業員一人當り四百五十四圓六十四錢、

以上の收支による差引は現金千三百十六圓四十三錢、現物九百七十三圓三十一錢、計二千二百八十九圓七十三錢の農業所得となる（この收支は昭和十二年度に於けるもの）なほ伸澤氏は牛、緬羊、豚の飼料として發酵のエンシレージを昭和九年から造成して居り牛の飼料用に石灰藥を昭和八年からつくつてゐるが同氏のこの獨特な究思考案によつて試まれたものを當時は一般農家が笑つてゐたが該飼料造成法が今は縣下に普及してゐる


スペインGHN元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

（電三）西村屋藥舖（二平）

ウルトラレットテラー

赤外光線治療所開院

電氣化學者藤澤正則先生多年苦心研究ノ結果發明セラレタル光線治療器ニ-シテ一部光線ノ如キ有害ナル炭酸瓦斯ヲ發生セズ光線温和ニシテ、人体ニ放射スレバ皮膚ヲ透過シテ作用ヲ起スノデアリマス、附（カアボン太陽器、電磁器、爪光發生器等ニアラズ）他ノ光線器ト比較シ治療アラン事ヲ望ム、

適應症

肋膜炎、腹膜炎、腎臟疾患、不眠症、腰痛、肺炎、蓄膿性、中耳炎、扁桃腺炎、貧血症、神經痛、子宮病、疫小便、胃腸、便秘、頭痛、呼吸器、高血壓、神經衰弱、痔、淋疾、齒痛、美顏術、其ノ他ノ疾患、一度御試シアレ

平市大町新川端

渡邊方　赤外光線治療所

電五六四

1939を行く

逸品揃ひに

春のショール

晴雨兼用傘

春の子供服

各種陳列

ヤルツ

○四一電

特にマルトモのランチは材料のおまかせを願つて居るため其の節々のおいしい新鮮な物を御薦め出來ますので御客樣から御好評を蒙いて居ります、

御來店御名上りの時も御來客樣用仕出し等總べて御値段を御示し下すつておまかせ願へますれば季節〳〵の材料で美味快適なものを調理進上出來ますので乏また非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO

平市停車場通　マルトモ食堂　電話一二三

表代城磐酒銘

美味經濟醬油

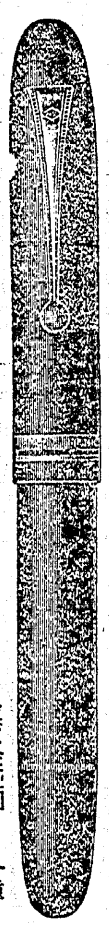
ヤマワ

山崎合名會社

電話十番

新學期

特賣



御入學、進級、卒業、記念に、此の上のない贈物

贈呈用化粧箱入二圓より各種調製

萬年筆專門　岡萬年筆製作所

定價金壹圓より各種

平市十五丁目（大町通り）

根本産婦人科醫院

平市南町

根本莊次郎

根本貞雄

（入院隨時）

電話三四番

産科婦人科　院長　木村寅次郎

外科　醫學博士　内木宗八

藥局　藥劑師　大岩俊雄

入院隨意

病室完備　木村病院

平市新川町九一　電話一六四番

便利で經濟な日下家政婦會の

派出婦を御利用下さい

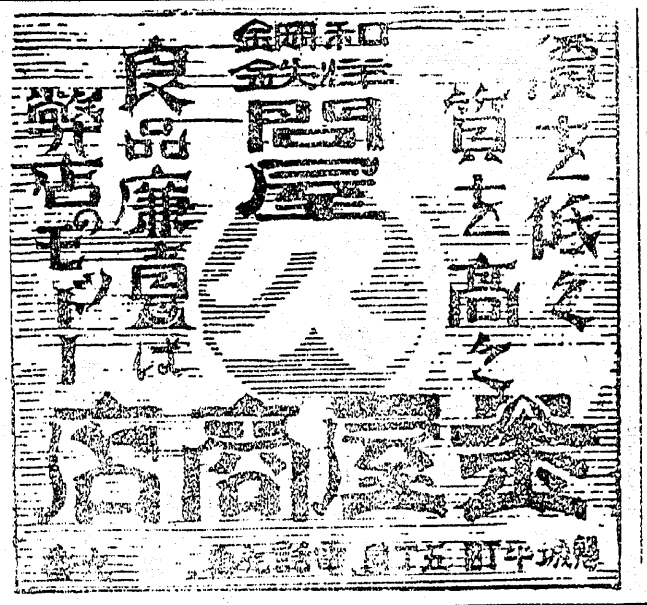
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です

平市白銀町十番地（電話七二三番）

日下家政婦會

會長　日下すい子

會員同志の御加入（派出なき閑暇に裁縫や）を御誘ひ致します（編物をお教授致します）




平田町（三丁目裏川岸通）

明雲堂眼科醫院

電話六六九番

入院應需（自炊の便あり）